



## News Release

2021年3月9日  
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

### 「主要グローバル企業のサプライチェーン調査」報告書発行 (アジア地域における白物家電関連)

これまで世界各国の製造業はグローバル競争の激化やアジア地域の経済発展を背景に、生産・販売拠点を移管し、サプライチェーンを構築してきました。日本企業もアジア地域でのネットワークを拡大・強化してきましたが、中国・韓国企業との競争下に置かれ競合は一層厳しくなり、また近年、中国が経済圏拡大を目的に「一带一路」戦略を積極的に推進。2018年には米中貿易摩擦が勃発し、各企業はリスク回避のため、アジア地域でのサプライチェーンを変え始めており、それが今後も大きく変化し進んでいく可能性があります。

このような背景から、家電調査委員会では、アジア地域における主要グローバル企業のサプライチェーンの現状と変化を整理し、成功事例や中長期的な戦略を調査・分析、今後の日系メーカーの白物家電ビジネスの方向性を纏め、報告書を発行しましたのでご案内致します。内容は、別添の「概要版」をご覧下さい。

#### 1. 調査の概要

本報告書は、文献、マクロデータ及び主要メーカーヒアリングなど多面的な調査を行い、整理・分析した上で、日系白物家電メーカーの今後の戦略方向性について纏めました。

#### 2. 報告書 目次

##### 第1章 日系メーカーのサプライチェーン構築の変遷と課題

1. 日系製造業の成長の変遷
2. 日系メーカーのアジアにおけるサプライチェーンの変遷
3. 日系白物家電の競争力
4. 日系白物家電の競争力向上に向けたサプライチェーンに係る課題

##### 【参考】中国の競争力向上

##### 第2章 主要グローバル企業のサプライチェーンの特長

1. 主要グローバル企業のサプライチェーンの特長(まとめ)
  - ① Whirlpool、② Samsung、③ LG、④ Haier、⑤ Midea
  - ⑥ Cisco、⑦ Amazon、⑧ Xiaomi、⑨ Lenovo、⑩ Honda
2. 主要企業の事例
  - ① Haier、② Xiaomi、③ Samsung、④ LG、⑤ まとめ
3. 中国・韓国4社のサプライチェーン戦略分析
  - ① Haier、② Xiaomi、③ Samsung、④ LG、⑤ まとめ

### 第3章 日系白物家電メーカーの取るべき方向性

1. 今後の不確実時代に求められるサプライチェーンの要素
2. 日系白物家電メーカーの取るべき方向性
  - ① グローバルサプライチェーンの一元管理
  - ② 健全な競争環境を生み出すサプライヤーマネジメント
  - ③ 「多様なニーズ」と「効率的な生産体制」の両立
  - ④ 生産拠点運用の柔軟化
  - ⑤ レジリエント・サプライチェーンの実現

### 参考 アジア主要国の概況

1. 対象国主要項目一覧
2. 経済・市場比較
3. 事業環境比較
4. 東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の締結合意の状況
5. 対象国ごとの概況

#### ○報告書販売のご案内

- ・報告書(A4・約230ページ)の販売形態は「冊子」のみで、「PDFファイル」はありません。
- ・報告書の販売価格は以下の通りです。

	販売価格(消費税込)
JEMA会員(正会員・賛助会員)	5,000 円
JEMA非会員	50,000 円

- ・購入される場合は、当会ウェブサイト(<http://www.jema-net.or.jp/>)の「刊行物コーナー」をご利用下さい。

以上

本リリースに関するお問合せ先  
担当 家電部 企画業務課  
TEL 03-3556-5887 FAX 03-3556-5891